



和顔愛語(わけんあいご)



先日、育てているあさがおの鉢を園児が抱えて移動している姿を見かけました。しばらく様子を見てみると、「あさがおの芽が大きくなった。」「ぼくのも大きくなったよ。」と話していました。その日の外遊びの時に一緒に遊んでいると、私の手を引いてアサガオの鉢のところに連れて行く園児がたくさんいました。「わたしのあさがお見て。」「ぼくのあさがお大きくなったでしょ。」もう少しすると、色とりどりのあさがおの花が、園庭を飾ってくれることでしょうか。5月も下旬となり、夏の足音が近づいているように感じます。

幼稚園バスから降りてきたお友達や、保護者と一緒に登園してきたお友達との「おはようございます。」のやりとりは、ただの言葉のやりとりではなく、心のやりとりです。多くのお友達が、目を見て「おはようございます。」とあいさつしてくれます。朝から子どもたちに多くの元気をもらっています。

さて、現代はIT社会とも言われ、スマートフォンで情報のやりとりをする機会が増えています。相手と顔と顔をつきあわせ、表情を伺いながら会話する経験を重ねることによって対人能力は養われていきます。最近では大人でも、電話のかけ方や、時と場に応じた話し方が上手くできずに相手の感情を損ねているというケースも少なくないようです。

「和顔愛語」という言葉があります。この意味は「ふだんから笑顔を中心にかけていると、自然に優しい言葉が出てきますよ。そして、自分が笑顔でいると、周りの人も笑顔になり、優しい言葉で語りかけてくれますよ。」というものです。このことは、私自身も心にかけているつもりですが、なかなか難しいものです。

東俣幼稚園でも毎朝、元気な声で「おはようございます。」が響き合っています。私たち大人も、子どもたちのあいさつの姿に負けないように「和顔愛語」を心掛けていきたいと思えます。



【保育信条：尊いみ教を聞いて ほとけの子を育てます】

6月の主題

歓喜(かんぎ)=つよくのびます

「つよく」とは、決して強情であるとか、乱暴なというような在り方を指しているのではなく、自己のつよさ、たくましさを備えた子どもという意味を指します。

近年、「他人に迷惑をかけなければ、何をしても良い」といった自己中心的な考え方が世間から厳しい批判を受けたり、学校教育の在り方が根本から何度も見直されたりしていますが、いつの世においても大切なことは、人間としての基礎が定まる幼児期においては、「基本的な生活習慣を正しく身に付けること」だといえます。

子どもたちがいろいろ興味のあることに取り組む中で、達成感を味わうことを通して、つよく明るく、自律性を備えたたくましい子に育つような保育を心がけてまいります。



園児とのふれあいを通して

幼稚園での生活の中で、園児とのふれあいの一こまをお伝えします。



@Hoiclue

午後の外遊びの時間のことです。ひまわり組の女の子がやってきて、「園長先生お医者さんごっこをしよう。」と誘ってくれました。何役をするのかなと思いながらついていくと、「園長先生は、足を怪我した患者さんです。」と言われ、お医者さん役の女の子から腕に大きな注射をうたれました。帰り際に「お大事に」と一言いってもらいました。大人の世界をよく見えています。



先日、園舎の外側に取り付けている大きな時計の針が動いていませんでした。脚立を使って時計を取り外すと、電池が切れており、新しい電池と交換し、再び所定の位置に取り付けました。その日の午後のこと、私が帰宅しようとするとき、ちゅうりっぷ組さんの男の子が駆け寄ってきてくれ、「園長先生、時計を直してくれてありがとうございます。」とってくれました。思わず、笑顔になりました。優しい心が育っていることを感じる事ができる一コマでした。

「感染拡大警報」の延長及び新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

県内の感染状況を踏まえ、感染拡大の警報基準における「ステージⅢ」を継続し、6月6日(日)まで「感染拡大警報」が延長されています。

最近の、県内の感染の特徴として次のことが伝えられています。

- ① 本県の感染者の年齢構成については、50歳代以下が8割となっている。
- ② 10歳代未満の感染者が多くなっている。

先日は、鹿児島市の児童福祉施設において新型コロナウイルス感染症のクラスター発生が確認されています。今後とも、感染防止対策を考慮しながらの園行事の運営となります。ご協力よろしくお願い致します。

5月20日(木)に出された「感染拡大警報」の延長に関する知事メッセージの中から、県民の皆様に対する部分を抜粋してお知らせします。

【県民の皆様へ】

県外との往来に起因する感染も多いことから、県外との不要不急の往来については引き続き自粛をお願いいたします。また、感染拡大地域からの不要不急の来県についても自粛をお願いします。

【県内での旅行】

現在、実施を見合わせている「今こそ鹿児島の旅(第2弾)」は、今後の感染状況により、再開させていただきます。

【最後に】

感染経路が不明な感染者も増えていると感じています。いつ、どこで自分が感染するかもしれない、あるいは無症状のまま気付かないうちに周りの人に移してしまうことがあるかもしれない状況になっております。